
指紋

Drealist

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

指紋

【Nコード】

N2113C

【作者名】

Drealist

【あらすじ】

つまらないことをしてしまった。俺は自分の指を眺めながらふと考えるのだった。

人差し指を眺めている。

どうして人には、指紋があるんだろう。

個人を特定するため ？

進化の意志にそんなものは必要ないだろう。

ただの紋様 ？

短絡的だな、俺は……

偶然 ？

まあ、あり得なくはないな。

……そもそも生物学やら進化学を知らない俺には、わかるはずもねえか。

たとえそれを知ってたとしても、この指に刻まれた紋の意味が理解できるとは言えないが。

「ピガ ツ ああー、テストス……コホン……」

お前は完全に包囲されている！ 無駄な抵抗はやめ、武器を捨てて降伏しろ！ ピガ ツー！」

俺は指を眺めている。この小さな部屋という場所で。

指という指に、紋が張り付いていた。

「現在たてこもっている犯人を、警察が説得しているところです。

今回の事件は、激しい口論の様子を周辺の住人に聞かれていたことから発覚し、

現場に指紋の跡が残っていたことや、被害者の男性と親しい友人であるということから、犯行が衝動的であると専門家は言っております。

人質の女の子を早々に引き渡せば、情状酌量の余地は充分
座ったままりモコンでテレビを消す。」

さすがはマスコミ、といったところか。大方は当たっている。ただひとつ、間違っていることがあるとすれば、俺は許されることはない、ということだ。

罪は罪。罰は罰。

いろいろな間違いをおかしたが、その責任は俺にある。

この紋様は、その証か

俺には指紋の理由は知れないが、

なぜだろう……生きる意味のことはわかっていた。

部屋の外からは、ざわめきが聞こえている。

ちらとソファアームですやすや眠る女の子に目をやる。

すまない。

心のなかで、つぶやく。

そして、初めからこうするべきだったんだ、とも。

俺は銃を口に差し込んだ。

親指に力を込める。

生きる理由　　そんなものは、ない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2113c/>

指紋

2011年1月26日09時38分発行